

## ⑩ 中郷区

### ■人口（令和元年10月末現在）

総人口	3,611人	2.8%
15歳未満	289人	0.2%
65歳以上	742人	0.6%
75歳以上	764人	0.6%

### ■地域の送迎サービス

No.	名称	運行主体	区間	運行日
1	スクールバス	市	中郷小学校区(通学距離が3km以上)、中郷中学校区	中郷小:通年中郷中:12月～3月
2	岡沢買い物ツアー	岡沢老人クラブ 松寿会	西部地区～パロー	月2回(5月～11月)
3	住民福祉会事業 お買い物ツアー	NPO法人中郷区ま ちづくり振興会	中郷区～妙高市内又は上越市内	年4回
4	サロン送迎	NPO法人中郷区ま ちづくり振興会	中郷区内	週2回(月、金)
5	出前サロン送迎	NPO法人中郷区ま ちづくり振興会	中郷区内	週1回(木)

### ■バス路線の収支と評価結果

No.	路線	区分	収支等の状況(H30決算)								評価結果	
			経常費用 (千円)	経常収益 (千円)	経常欠損 (千円)	収支率	国県補助 (千円)	市補助 (千円)	年間利用者数 (人)	1便当たり 利用者数 (人)		平均乗 車密度
1	岡沢ルート	支線	4,996	965	4,032	19.3%	1,526	1,751	4,421	1.8	-	II 運行形態の転換等
2	関山ルート	支線	5,688	989	4,699	17.4%	1,791	1,409	4,141	2.1	-	II 運行形態の転換等
合計			10,684	1,954	8,730	18.3%	3,317	3,160	8,562	1.9	-	

### ■利用の実態（乗降調査）

No.	路線	利用の実態	
		利用の傾向 (乗降調査)	利用の特徴 (乗降調査)
1	岡沢ルート	A・B-ア	・朝は通学利用が主、昼間は通院利用が主 ・夕方は利用が少ない ・定路線外の停留所の利用が少ない
2	関山ルート	A・B-イ	・朝・昼間は通院利用が主 ・夕方は通学利用が主 ・定路線外の停留所の利用が少ない

### ■沿線住民の意見

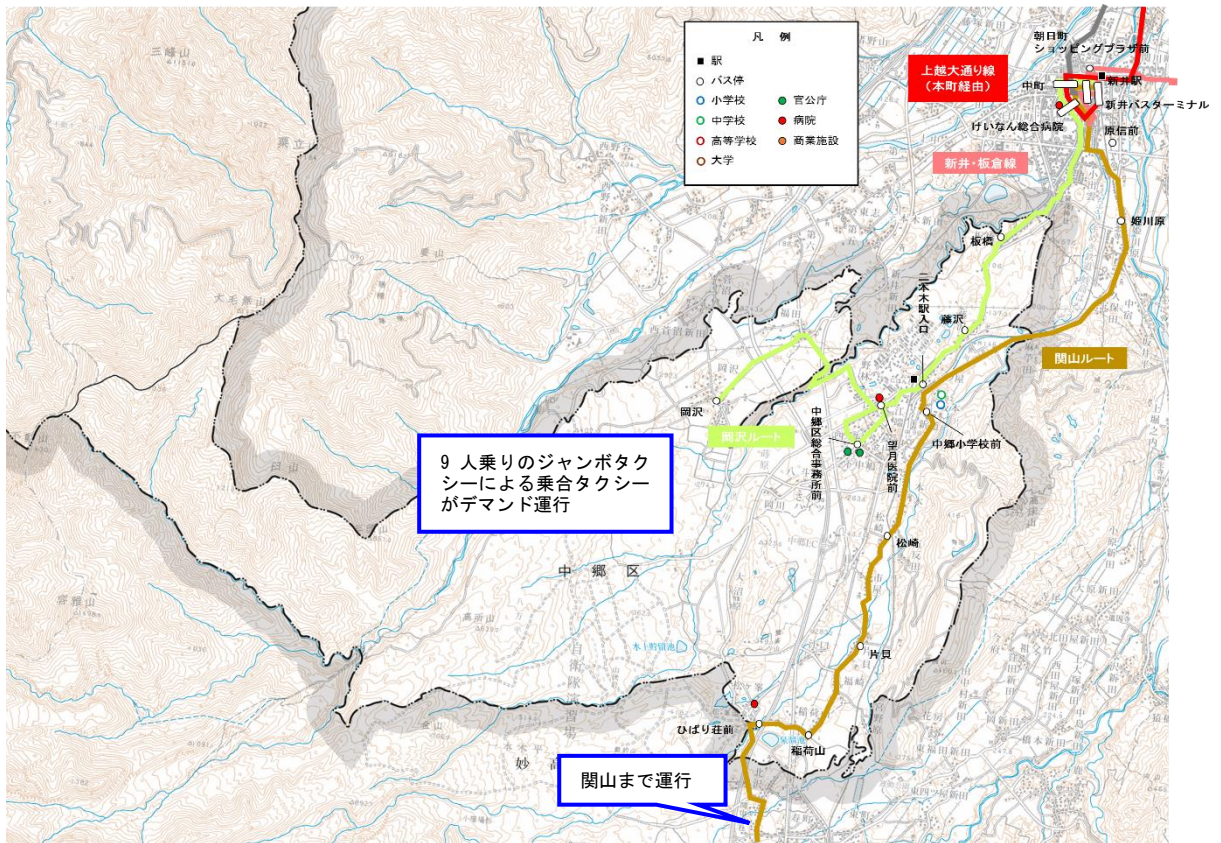
No.	路線	地域住民の意見	
		利用者の意見 (乗降調査)	住民の意見 (聞き取り調査、説明会等)
1	岡沢ルート	・意見なし(0人/49人)	・デマンド予約が面倒、通院からの帰宅時の利用が不便(サロン、集落カルテ、高齢者の聞き取りにより35人から意見) ・新井駅周辺の医療機関近くに停留所の新設要望あり(高齢者への聞き取りにより55人中6人)
2	関山ルート	・意見なし(0人/29人)	

### ■再編の方向性

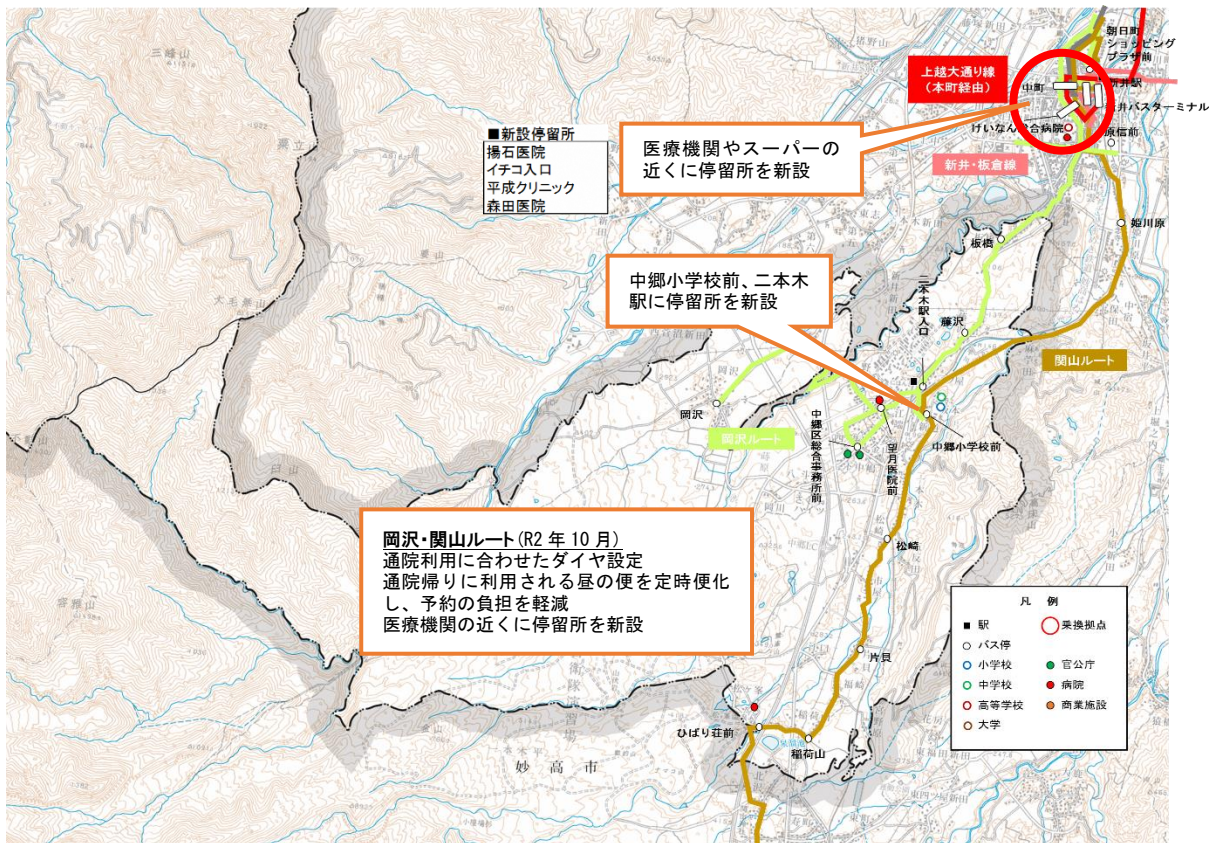
No.	路線名	区分	主な再編時期	再編の方向性
1	岡沢ルート	支線	R2年10月	・通院利用に合わせたダイヤ設定、医療機関周辺へのルート変更、停留所の新設により、高齢者の通院利用の利便性を向上 ・通院利用が想定される一部のデマンド便について、一定の利用があることを前提に定時便化し、予約の負担を軽減(利用者数等の目標を設定し、未達成の場合は見直し)
2	関山ルート	支線	R2年10月	

※幹線と支線の乗換拠点は新井バスターミナル

■再編前



■再編後



## ⑪ 板倉区

### ■人口（令和元年10月末現在）

総人口	6,641人	5.1%
15歳未満	732人	0.6%
65歳以上	1,059人	0.8%
75歳以上	1,339人	1.0%

### ■地域の送迎サービス

No.	名称	運行主体	区間	運行日
1	サロン送迎	板倉まちづくり振興会	区内～板倉保健センター	月2～3回(地区ごとに曜日設定)
2	買い物ツアー	板倉区中山間地域農業振興会	板倉区内全域～市内商店	年1～2回(冬)
3	ねごしの里・ねごしの茶の間	ねごしの里	板倉区内全域～ねごしの里	週2回(火、木)
4	ねごしの里買い物ツアー	ねごしの里	板倉区内全域～市内商店	週1回
5	高齢者筋力向上トレーニング	いたくら桜園	板倉区内全域～いたくら桜園	週2回(火、金)

### ■バス路線の収支と評価結果

No.	路線	区分	収支等の状況(H30決算)								評価結果	
			経常費用(千円)	経常収益(千円)	経常欠損(千円)	収支率	国県補助(千円)	市補助(千円)	年間利用者数(人)	1便当たり利用者数(人)		平均乗車密度
1	島田線	幹線	13,564	2,364	11,200	17.4%	5,003	6,196	8,432	2.5	0.9	III 運行の効率化
2	山寺薬師線	支線	10,849	1,164	9,685	10.7%	0	9,685	8,735	1.9	0.5	II 運行形態の転換等
3	上関田線	支線	10,558	978	9,580	9.3%	2,193	7,387	6,523	1.4	0.5	II 運行形態の転換等
4	孤立線	支線	5,939	487	5,452	8.2%	0	5,451	4,887	1.2	0.3	II 運行形態の転換等
5	三針線	支線	3,076	291	2,785	9.5%	0	2,785	1,497	0.6	0.4	I 路線廃止
6	新井・板倉線	幹線	16,380	5,380	11,000	32.8%	341	4,884	29,778	4.1	0.9 2.5	III 運行の効率化
合計			60,366	10,663	49,703	17.7%	7,537	36,388	59,852	2.3	-	

### ■利用の実態（乗降調査）

No.	路線	利用の実態	
		利用の傾向(乗降調査)	利用の特徴(乗降調査)
1	島田線	A・B-イ	・朝夕は通学利用が主 ・昼間は通院利用が主 ・針-曾根間間は利用が少ない
2	山寺薬師線	A-ア	・朝夕は通学利用が主 ・昼間の利用は少ない
3	上関田線	A-ア	・朝夕は通勤、通学利用が主 ・昼間の利用は少ない
4	孤立線	A・B-ア	・朝夕は通学利用が主 ・昼間の針付近は利用が少ない
5	三針線	A-ア	・朝夕は通学利用のみ ・昼間の利用は少ない
6	新井・板倉線	A-ア	・朝夕は通学利用が主 ・昼間は通院利用が主

### ■沿線住民の意見

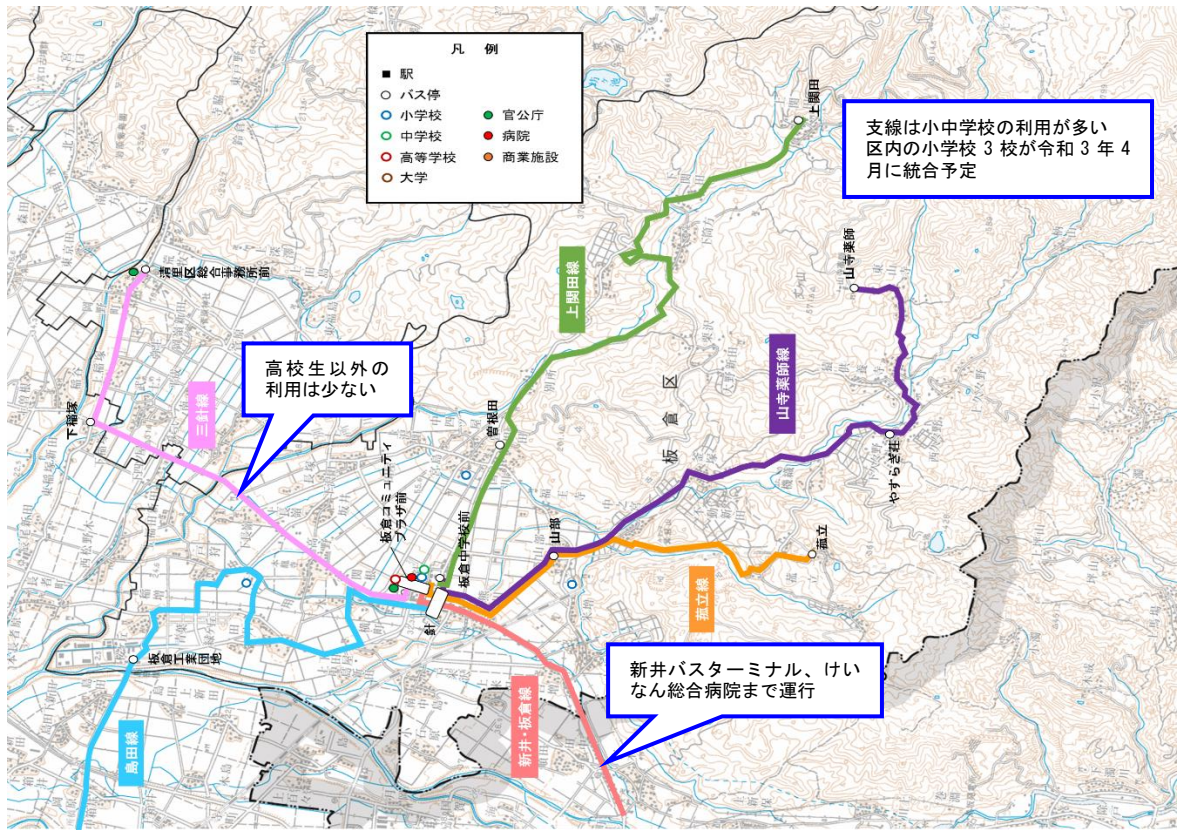
No.	路線	地域住民の意見	
		利用者の意見(乗降調査)	住民の意見(聞き取り調査、説明会等)
1	島田線	・意見なし(0人/47人)	・上越妙高駅への乗り入れ要望あり(集落カルテ調査:1町内会、有恒高校へのアンケート:109人中15人)
2	山寺薬師線	・意見なし(0人/38人)	・コミプラでの乗り換えが面倒(1団体) ・部活動の終了時間に合わせた19時台のバスの運行(板倉中学校PTA)
3	上関田線	・意見なし(0人/42人)	・部活動の終了時間に合わせた19時台のバスの運行(板倉中学校PTA)
4	孤立線	・意見なし(0人/51人)	・部活動の終了時間に合わせた19時台のバスの運行(板倉中学校PTA)
5	三針線	・意見なし(0人/11人)	・意見なし
6	新井・板倉線	・意見なし(0人/163人)	・有恒高校へのアンケートにより、新井方面への増便希望(109人中(5人))

### ■再編の方向性

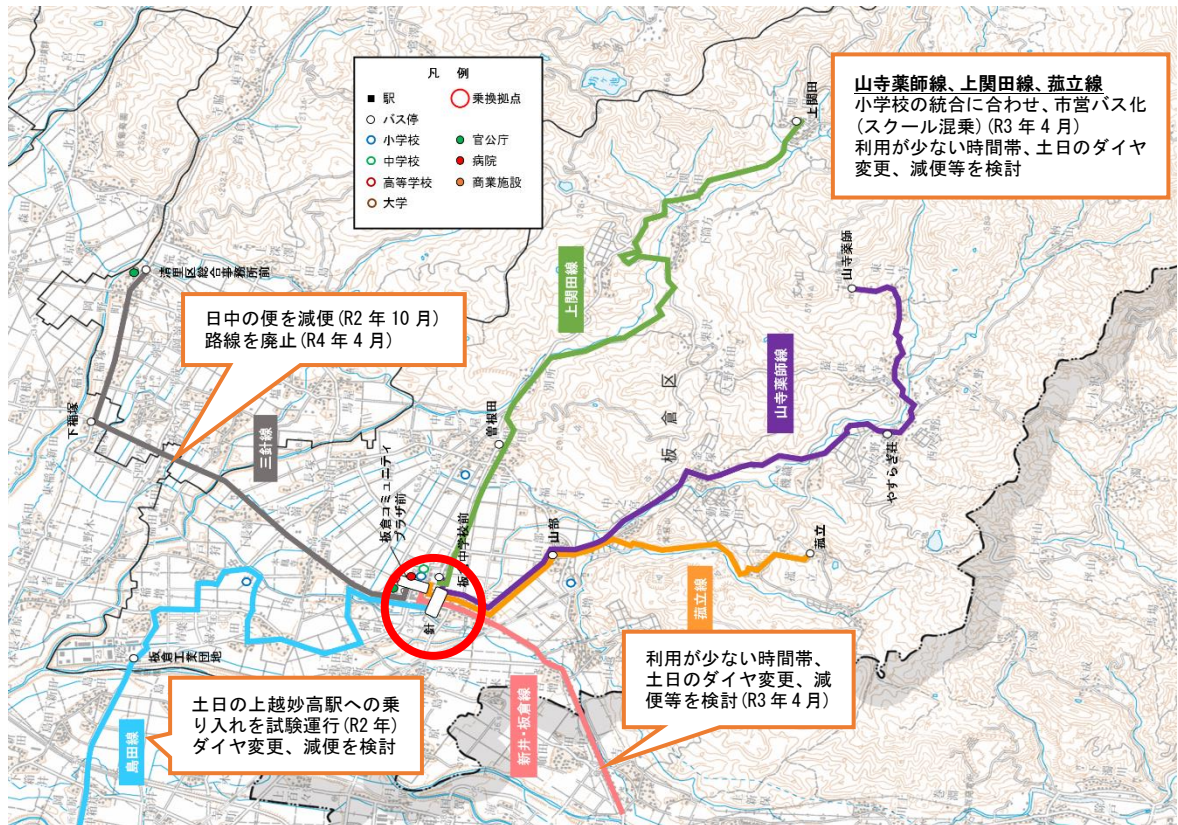
No.	路線名	区分	主な再編時期	再編の方向性
1	島田線	幹線	R3年4月	・利用者が少ない土日の便の上越妙高駅への乗り入れを検討するため、試験運行を実施(R2年) ・利用の少ない時間帯のダイヤ変更や減便、利用が少ない土日の便の減便を検討し、利便性と効率性を向上
2	山寺薬師線	支線	R3年4月	・小学校の統合に合わせて、スクールバスの運行を予定しているため、路線バスとの一本化(スクールバス混乗の市営バス) ・利用が少ない時間帯のダイヤ変更や減便、土日の便の減便、日曜日の運行とりやめを検討し、利便性と効率性を向上
3	上関田線	支線	R3年4月	
4	孤立線	支線	R3年4月	
5	三針線	支線	R4年4月	
6	新井・板倉線	幹線	R3年4月	・利用が少ない時間帯や土日の便の減便、日曜日の運行とりやめを検討し、効率性を向上

※幹線と支線の乗換拠点は板倉コミュニティプラザ

■再編前



■再編後



## ⑫ 清里区

### ■人口（令和元年10月末現在）

総人口	2,616人	2.0%
15歳未満	271人	0.2%
65歳以上	440人	0.3%
75歳以上	527人	0.4%

### ■地域の送迎サービス

No.	名称	運行主体	区間	運行日
1	スクールバス	市	清里区榑池地区(清里小学校区)	平日
2	サロン送迎	NPO法人清里まちづくり振興会	清里区内全域	毎週2～3回(平日)

### ■バス路線の収支と評価結果

No.	路線	区分	収支等の状況(H30決算)								平均乗車密度	評価結果
			経常費用(千円)	経常収益(千円)	経常欠損(千円)	収支率	国県補助(千円)	市補助(千円)	年間利用者数(人)	1便当たり利用者数(人)		
1	青柳線	幹線 支線	37,837	8,044	29,794	21.3%	3,614	26,177	63,253	幹線 3.6	1.0 1.0 1.3 1.4 1.6	Ⅲ運行の効率化(幹線) Ⅱ運行形態の転換等(支線)
										支線 1.1		
2	三針線	支線	3,076	291	2,785	9.5%	0	2,785	1,497	0.6	0.4	I路線廃止
合計			40,914	8,335	32,579	20.4%	3,614	28,962	64,750	4.7	-	

### ■利用の実態（乗降調査）

No.	路線	利用の実態	
		利用の傾向(乗降調査)	利用の特徴(乗降調査)
1	青柳線	A・B-ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝夕は通学利用が主</li> <li>昼間は通院、買い物利用が主</li> <li>清里区総合事務所前-赤池間は利用が少ない</li> </ul>
2	三針線	A-ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝夕は通学利用のみ</li> <li>昼間の利用は少ない</li> </ul>

### ■沿線住民の意見

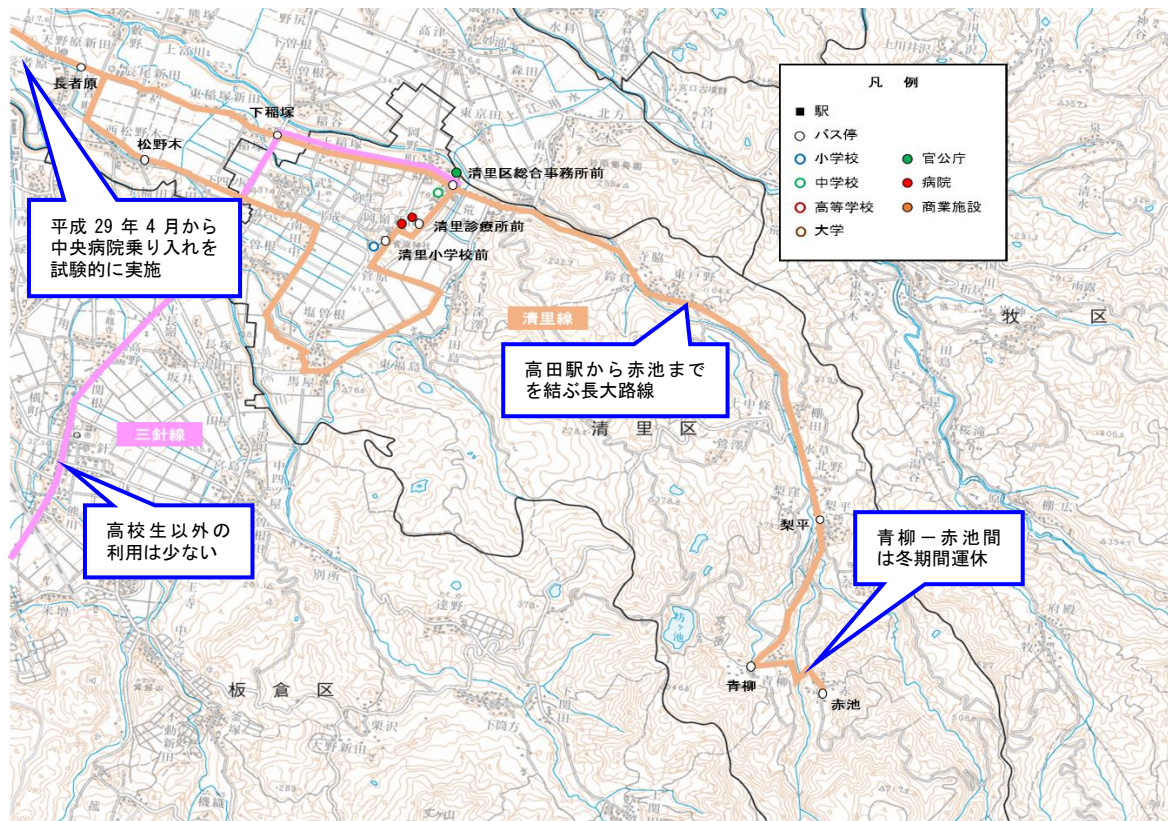
No.	路線	地域住民の意見	
		利用者の意見(乗降調査)	住民の意見(聞き取り調査)
1	青柳線	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療センター病院経由(3人/218人)</li> <li>中央病院経由の増便(2人/218人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬期間の赤池への運行(榑池地区住民6人)</li> <li>交通空白地の鶯澤、上中條町内会からバスを運行してほしいとの要望あり</li> <li>清里診療所の利用者2人から全便清里診療所経由とするよう要望あり</li> </ul>
2	三針線	意見なし(0人/11人)	意見なし

### ■再編の方向性

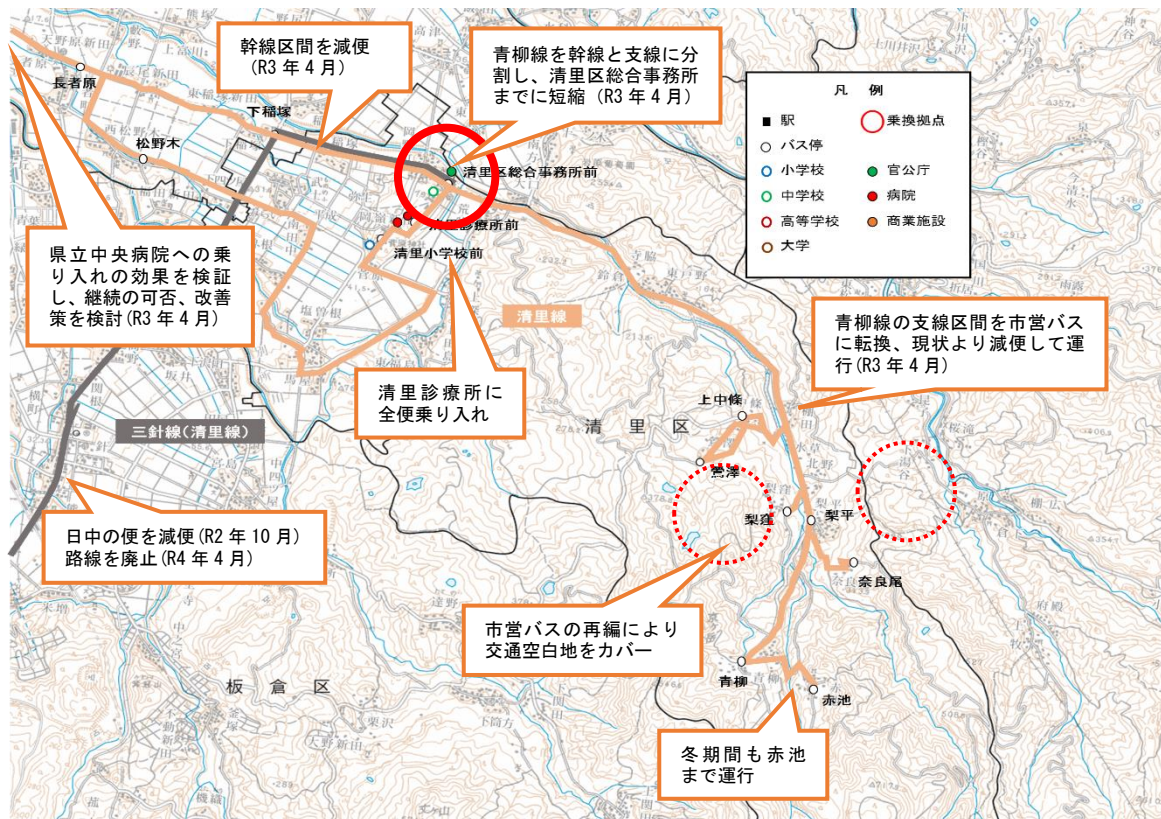
No.	路線名	区分	主な再編時期	再編の方向性
1	青柳線	幹線	R3年4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹線と支線に分割し、高田駅-清里区総合事務所間に短縮</li> <li>利用の少ない時間帯の便を減便し、効率性を向上</li> <li>平成29年4月に実施した県立中央病院への乗り入れの効果を検証し、乗り入れの存続やダイヤ改善による利便性の向上を検討</li> </ul>
		支線	R3年4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>市営バスに転換し、効率性を向上</li> <li>車両を小型化することにより交通空白地へも運行することとし、利便性を向上</li> <li>清里診療所に全便乗り入れ</li> <li>冬期間、赤池まで運行し、利便性を向上</li> <li>現在バスを利用して通学する中学生は、小学生のスクールバスで輸送</li> </ul>
2	三針線	支線	R4年4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線を廃止</li> <li>現在利用している高校生の在学中は、朝・夕の便を維持し、他の便を減便</li> </ul>

※幹線と支線の乗換拠点は清里区総合事務所

## ■再編前



## ■再編後



⑬ 三和区

■人口（令和元年10月末現在）

総人口	5,466人	4.2%
15歳未満	617人	0.5%
65歳以上	897人	0.7%
75歳以上	986人	0.8%

■地域の送迎サービス

No.	名称	運行主体	区間	運行日
1	福祉有償運送	三和区振興会	出発または帰着が三和区内であれば市内どこへでも	平日
2	みんなの足	三和区振興会	三和区内	平日
3	買物バス	三和区振興会	利用者宅～四ヶ所	週3回
4	憩いの場 ひなた	三和区振興会	利用者宅～三和保健センター	週3回 (月、木、金)
5	サロン送迎	三和区振興会	三和区内	週2回 (月、木)
6	スクールバス	市	上杉小学校区、美守小学校区、三和中学校区	平日

■バス路線の収支と評価結果

No.	路線	区分	収支等の状況(H30決算)								平均乗車密度	評価結果
			経常費用(千円)	経常収益(千円)	経常欠損(千円)	収支率	国県補助(千円)	市補助(千円)	年間利用者数(人)	1便当たり利用者数(人)		
1	水科・今保線	幹線 支線	7,233	1,631	5,602	22.6%	1,369	4,233	7,547	幹線 3.5 支線 0.4	1.7	Ⅲ運行の効率化(幹線)
2	真砂・岡田線	幹線 支線	8,077	1,464	6,612	18.1%	2,954	3,658	5,996	幹線 2.7 支線 0.4	1.0	Ⅰ路線廃止(支線)
3	高田・浦川原線	幹線	22,361	5,298	17,062	23.7%	0	17,062	32,044	9.4	1.3	Ⅳ現状維持
合計			37,671	8,394	29,277	22.3%	4,323	24,953	45,587	6.3	-	

■利用の実態（乗降調査）

No.	路線	利用の実態	
		利用の傾向(乗降調査)	利用の特徴(乗降調査)
1	水科・今保線	A・B-ア	・朝夕は高田方面の高校への通学利用が主 ・三和区内の利用が少ない
2	真砂・岡田線	A・B-ア	・朝夕は附属小への通学利用、通勤利用が主 ・三和区内の利用が少ない
3	高田・浦川原線	A・B-ア	・朝夕は、高田駅方面、浦川原方面、戸野目小への通学利用が主 ・時間帯により利用の少ない区間あり

■沿線住民の意見

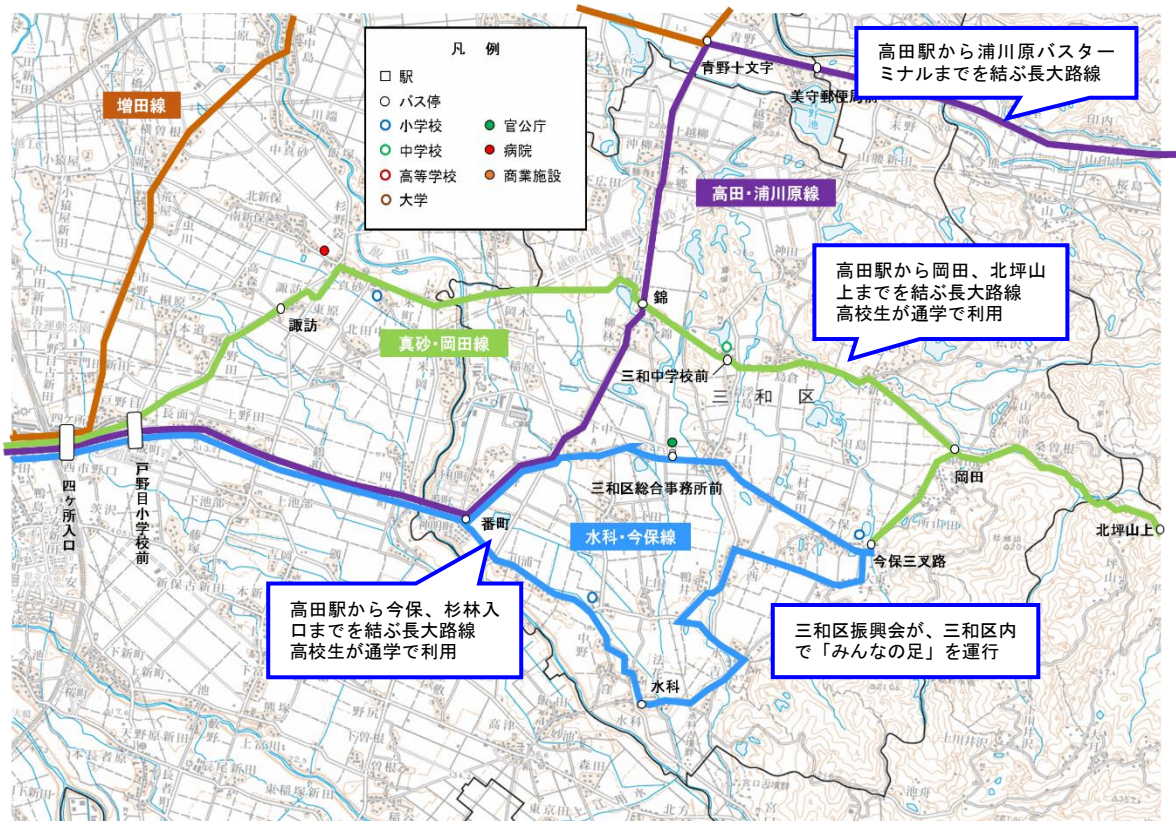
No.	路線	地域住民の意見	
		利用者の意見(乗降調査)	住民の意見(聞き取り調査、説明会等)
1	水科・今保線	・ダイヤ、土日の運行等の要望(9人/40人)	・バスを使わない理由は、「他に移動手段があるため」「ダイヤが合わない」が24%、「ステップが高い」が14% ・バスが廃止された場合、区内の移動に「みんなの足」を利用すると答えた人は全体の60.0%、路線バスを乗り継いで区外へ移動すると答えた人は43.7% ※路線バスの沿線外の住民を含む。
2	真砂・岡田線	・ダイヤ、運賃、土日の運行等の要望(12人/40人)	
3	高田・浦川原線	・安塚分校への通学に係る乗継時間の短縮、ダイヤの見直し等(26人/200人)	

■再編の方向性

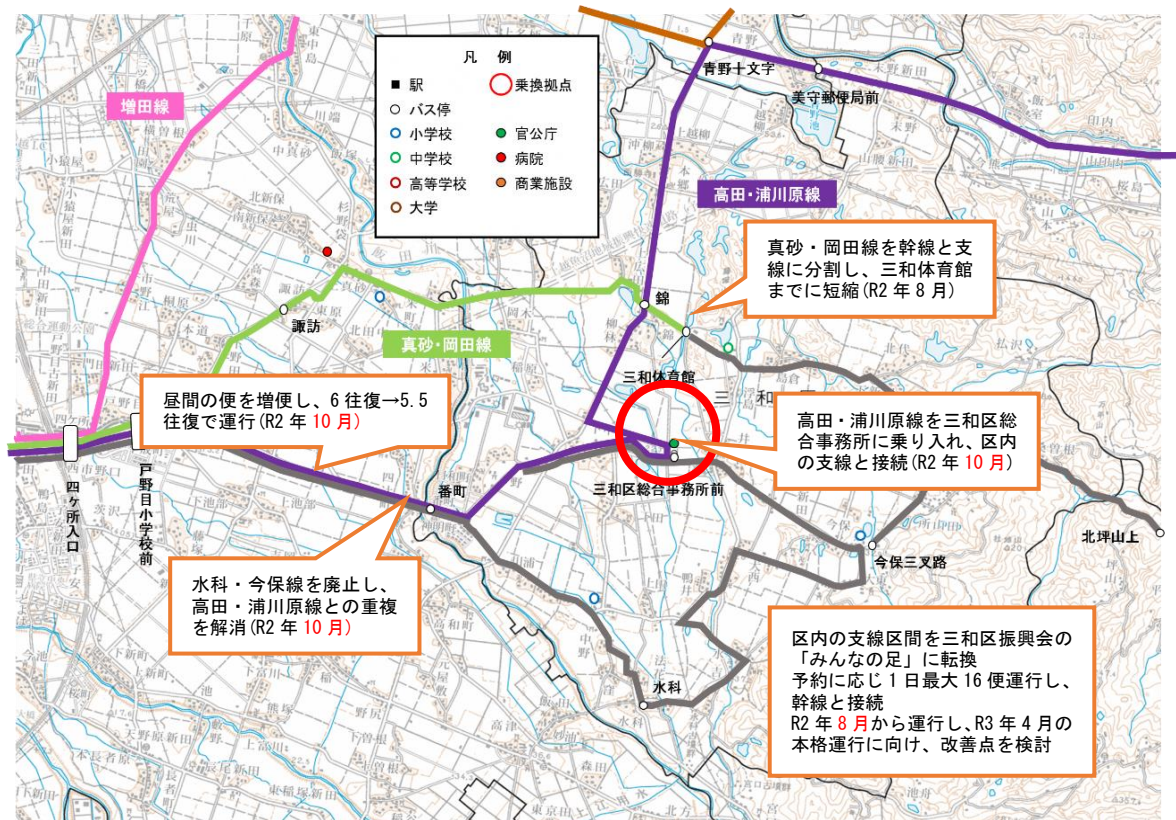
No.	路線名	区分	主な再編時期	再編の方向性
1	水科・今保線	幹線	R2年10月	・路線を廃止し、高田・浦川原線との重複を解消
		支線	R2年8月	・三和区内の支線区間は、三和区振興会の「みんなの足」（住民の互助による取組）に転換し、利便性と効率性を向上
2	真砂・岡田線	幹線	R2年10月	・幹線と支線に分割し、高田駅～錦間に短縮
		支線	R2年8月	・三和区内の支線区間は、三和区振興会の「みんなの足」（住民の互助による取組）に転換し、利便性と効率性を向上
3	高田・浦川原線	幹線	R2年8月～10月	・水科・今保線との重複解消により、運行を効率化 ・三和区総合事務所に乗り入れ、区内の支線と接続 ・需要のある昼間の便を増便し、利便性を向上

※幹線と支線の乗換拠点は、三和区総合事務所

■再編前



■再編後





## ⑭ 名立区

### ■人口（令和元年10月末現在）

総人口	2,502人	1.9%
15歳未満	218人	0.2%
65歳以上	474人	0.4%
75歳以上	618人	0.5%

### ■地域の送迎サービス

No.	名称	運行主体	区間	運行日
1	おでかけ会	濁沢、峠、折居、丸田町内会	名立区～直江津、高田、能生方面等	月1回(4月～12月)
2	買い物支援	名立区住民福祉会	名立区～直江津方面等	月1回
3	病院送迎	ひらはら内科クリニック	名立区内	平日、第1、3、5土曜日
4	サロン送迎	名立まちづくり協議会	名立区内	週3回

### ■バス路線の収支と評価結果

No.	路線	区分	収支等の状況(H30決算)								評価結果	
			経常費用(千円)	経常収益(千円)	経常欠損(千円)	収支率	国県補助(千円)	市補助(千円)	年間利用者数(人)	1便当たり利用者数(人)		平均乗車密度
1	名立線	幹線	12,196	1,219	10,977	10.0%	2,872	8,105	6,371	2.9	0.5	Ⅲ運行の効率化
2	能生線	幹線	10,746	3,140	7,606	29.2%	1,386	2,847	13,051	11.3	2.0	Ⅳ現状維持
3	市営バス(東飛山線)	支線	19,535	1,033	18,502	5.3%	4,910	13,592	53,520	9.1	-	Ⅳ現状維持
合計			42,476	5,392	37,085	12.7%	9,168	24,544	72,942	7.9	-	

### ■利用の実態（乗降調査）

No.	路線	利用の実態	
		利用の傾向(乗降調査)	利用の特徴(乗降調査)
1	名立線	A・Bーア	・朝は通勤通学、夕方は通勤利用 ・昼間の労災病院周辺は利用が少ない
2	能生線	Aーア	・朝は磯部小の通学と能生方面からの通院利用 ・昼間は通院、下校の利用 ・直江津方面行の昼間は利用が少ない
3	市営バス(東飛山線)	Aーイ	・朝夕は通学利用が主 ・朝は通院利用あり ・昼間は利用が少ない

### ■沿線住民の意見

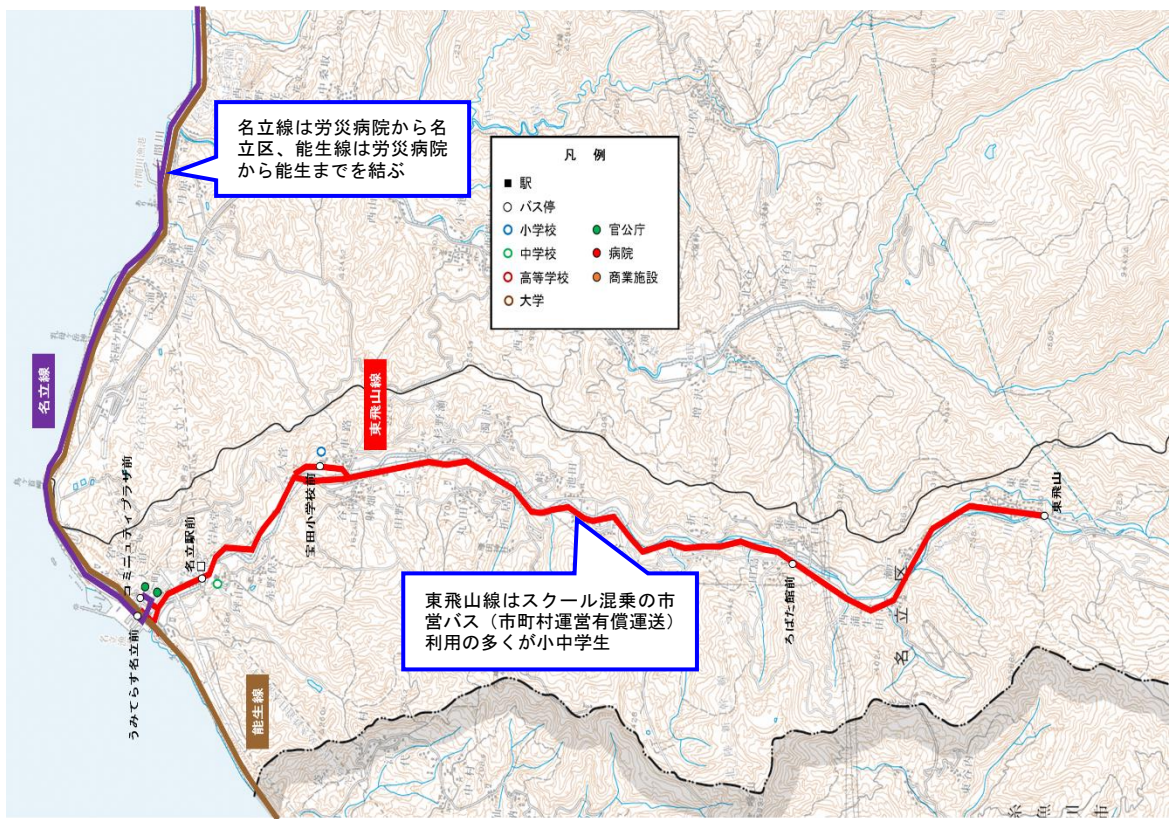
No.	路線	地域住民の意見	
		利用者の意見(乗降調査)	住民の意見(聞き取り調査、説明会等)
1	名立線	・増便の要望あり(2人/50人)	・路線から離れている丹原、鍋ヶ浦、吉浦、茶屋ヶ原での聞き取りでは、小中学生や高齢者はバスや送迎で通学・通院等をしているが、公共交通による更なる対応が必要な住民は現状いないとのこと。
2	能生線	・増便の要望あり(4人/97人)	
3	市営バス(東飛山線)	・能生線等との乗継改善(10人/108人)、増便(7人)の要望あり	・ろばた館に行きやすいダイヤ設定、集落内へのバス迂回(赤野保、濁沢)の意見あり

### ■再編の方向性

No.	路線名	区分	主な再編時期	再編の方向性
1	名立線	幹線	—	・現状維持
2	能生線	幹線	—	
3	市営バス(東飛山線)	支線	R2年4月	・バスの利用頻度が高いと見込まれる高校生等を対象とした学生定期券を導入 ・土休日のバスの利用促進を図るため、イベントや施設利用等の連携や地域の交通手段に対する応援意識の醸成を目的に、土休日乗り放題乗車券を導入

※幹線と支線の乗換拠点はいずれも名立コミュニティプラザ

■再編前



■再編後

